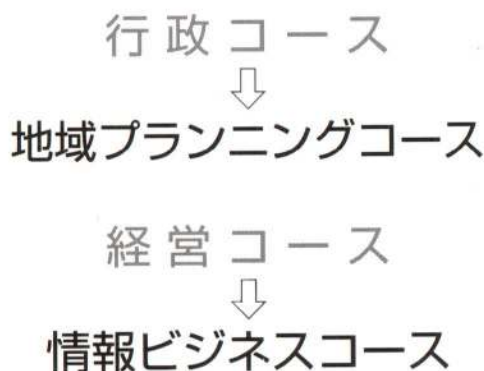




桂城短大

地域社会学科が 変わります



平成八年四月に開学した秋田桂城短期大学。今年で三年目に入り、三月には初めての卒業生を社会に送り出しました。ボランティア活動など、地域に根ざした活動を通して、職業能力開発短期大学校とともに市民の大学として定着しつつあります。

桂城短大には、現在、三つの学科があります。その一つ、地域社会学科は、地域の問題や住民のニーズを調査・研究し、地域振興に貢献できる人材の育成を目指す、全国で唯一の学科としてスタートしました。これまで「行政」、「経営」の両コースを設け、地域に貢献できるコーディネーターの養成に努めてきました。しかし、社会の要請と学生の要望は刻々と変化しています。そこでコース内容の刷新と指導体制の充実を目指し、従来の「行政コース」を「地域プ

ランニングコース」に、「経営コース」を「情報ビジネスコース」に変えることにしました。

○両コースの特徴は次のようになります。

☆地域プランニングコース
地域発展を担う公務員などに必要な学問をはじめ、経済に携わる者としても欠かすことのできない法学、経済学、経営学、社会学など、さまざまな学問を学びます。そして、従来の学科では学ぶことが難しかった多角的な学問を配して、これからの地域の産業や行政にかかわる人材を育成していきます。また、公務員志望者のために課外講座として「公務員試験講座」を開講します。

☆情報ビジネスコース
地域産業・情報発信の担い手となるために欠かすことのできない情報処理、情報収集、情報発信に関する科目と地域産業の経営に関する体系的な学問を学びます。そして、国家試験の「システム・アドミニストレータ（ネットワークコンピュータの運用管理者）試験」や「第2種情報処理技術者試験」の資格取得を目指します。なお、「公務員試験講座」も受講できます。

このように、来年度から地域社会学科のコースと学習内容が変わることになりました。これに伴い、桂城短大が今まで以上に地域の発展に役立つことが期待されます。

市長リポート

No.171



福祉エリアの役割

平成九年十一月から十二所地区に建設を進めていました「秋田県北部老人福祉総合エリア（仮称）」が来年四月にいよいよオープンします。これは、県と市の共同事業として行われているもので、このうち、今月十二日に市の第一期工事分である特別養護老人ホーム、ケアハウス、ふれあいセンターが完成しました。この後には、県の事業となっているコミュニティセンターのオープンが控えており、市の第二期工事も平成十五年度までに完成する予定となっています。

オープンに先立ちまして、八月末にケアハウスの入居申し込み説明会とモデルルームの見学会を開きましたところ、たくさんのかたに参加していただきました。会場の様子から皆さんがエリアに大きな期待と関心を持っていることがわかり、非常にありがたいことと感じています。入居の申し込みも十月末現在で定員の七十パーセントを超えました。この福祉エリアは、在宅介護やデイサービス、ショートステイをはじめ、様々なニーズにこたえられる福祉サービスの情報基地として、北秋田地区のモデル的な役割を果たしていくこととなるでしょう。また、エリア内の各施設は、福祉の中心としての役割のほかに、子供からお年寄りまで、そして入居者と地域住民が交流できる場、健康と生きがいづくりの場、ボランティアの養成の場としてもおいに活用していただきたいと思います。

平成十二年四月からは、介護保険制度がスタートします。高齢化問題への取り組みも計画から実行の段階に入りました。今後は、ほかの福祉施設のサービスもさらに充実させる必要があります。そして、福祉エリアの基本理念「保健・医療・福祉の連携」を軸に、相互の連携を図り、利用しやすい体制を整えていきたいと思っています。

小畑 元